

健全化判断比率・資金不足比率

問 行政課財政係 ☎95-9869

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和2年度決算の健全化判断比率を示す4指標と公営企業の資金不足比率を公表します。

これらの比率は、赤字額や借入金の額などをもとに、自治体の「財政の健全化度」を数値として表したものです。いずれも、値が少ないほど、その自治体の財政は健全な状態にあるといえます。

資金不足比率

企業ごとに資金不足（赤字）の割合を示します。

会計名	碧南市	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	
病院事業会計	—	

※表中の「—」は、資金不足が発生していないことを示しています。

健全化判断比率

指標	碧南市	早期健全化基準
実質赤字比率 (一般会計などの赤字の割合を示す指標)	—	12.54%
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字の割合を示す指標)	—	17.54%
実質公債費比率 (一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示す指標(3か年平均))	1.9%	25.0%
将来負担比率 (一般会計などが将来負担すべき借入金の残高などの割合を示す指標)	—	350.0%

※表中の「—」は、実質的な赤字、将来負担が発生していないことを示しています。

総評

令和2年度決算は、いずれの指標でも基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。



市民病院
ハチちゃん通信

11月14日は世界糖尿病デー

問 市民病院管理課 ☎48-5050

糖尿病は、インスリンというホルモンの不足や作用低下が原因で、血糖値の上昇を抑える働き（耐糖能）が低下してしまうため、高血糖が慢性的に続く病気です。日本で糖尿病の疑いがある人は、成人の6人に1人にあたる約1,870万人にのぼります。

糖尿病が原因で亡くなる人を少しでも減らそうと、病気の予防や治療継続を呼びかけるキャンペーンが世界中で行われます。キャンペーンでは、一致団結して糖尿病と闘おうという意味をこめ、青い円＝ブルーサークルをシンボルマークとして使い、シンボルカラーの青色で歴史的な建造物をライトアップする取り組みもされています。

日本では、11月14日を含む1週間を全国糖尿病週間とし、例年各地で講演会や健康相談などが行われるほか病院や城跡などがライトアップされています。今年度も、市民病院ではイベントや講演会は原則行いませんが、毎月1回の糖尿病教室は開催しています。

臓器	項目	基準値
脂質	総コレステロール	130～219
	LDLコレステロール	119以下
	HDLコレステロール	40～119
	中性脂肪	149以下
血糖	NonHDLcho	149以下
	LH比	70～109
	(CSP)	5.5以下
		1.04以下

10月糖尿病教室

「年末年始 Xmasの食事の楽しみ方」

時	10月25日(月) 14時～15時30分
所	市民病院
対	市民病院の診察券がある人（要予約）
定	10人程度
¥	500円
申	電話で市民病院管理課